

令和3年度事業報告

1 会議に関する事項

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	3. 4. 20	ハム・ソーセージ 会 館	監事 4名 本人出席1名 書面決議3名	・令和2年度収支決算に関する事項
理 事 会	3. 4. 28	同 上	理事 書面決議18名 監事 書面確認 4名	・令和2年度事業報告及び決算等について ・第82回定時総会提出議案について ・役員補選の件について ・令和2年度JAS優良工場決定について ・第68回優良従業員表彰被表彰者決定について ・その他
理 事 会	3. 5. 26	同 上	理事 書面決議18名 監事 書面確認 4名	・令和3年度委員会等委員の委嘱について ・令和4年総会開催地について ・その他
第82回定時 総会	同 上	同 上	会員 115名 本人出席8名 書面決議107名	①令和2年度事業報告の件 ②令和2年度決算書等承認の件 ③令和3年度事業計画報告の件 ④令和3年度収支予算報告の件 ⑤入会基準決定の件 ⑥令和3年度加入金決定の件 ⑦令和3年度会費及び徴収方法決定の件 ⑧常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑨理事1名退任による理事及び監事の補選の件について ⑩議事録署名人の選定の件
正・副理事長 打合せ会	3. 9. 29	同 上	正・副理事長 4名(オンライン)	・役員会の運営について ・巾着包装の取扱いについて ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 書面決議18名 監事 書面確認 4名	・食品添加物の不使用表示に関するガイドライン検討会における検討経過について ・その他
正・副理事長 打合せ会	4. 1. 26	同 上	正・副理事長 3名(オンライン)	・役員会の運営について ・その他

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
理 事 会	同 上	同 上	理事 書面決議17名 監事 書面確認 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の加入について</li> <li>・SDGs推進委員会の設立について</li> <li>・令和4年総会の開催地の変更について</li> <li>・その他</li> </ul>
理 事 会	4. 3. 23	同 上	理事 書面決議17名 監事 書面確認 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度予算の基本方針及び大綱(事業計画)について</li> <li>・令和4年度収支予算について</li> <li>・会員の加入について</li> <li>・その他</li> </ul>

## 2 庶務に関する事項

(1) 令和3年4月29日、日本ハム・ソーセージ工業協同組合の元副理事長である日本ハム株式会社の小林浩元社長が多年にわたり食肉・食肉加工業に従事し、関係団体の要職にあって組織の運営と業界の発展に尽力した功績により「旭日重光章」受章の栄に浴された。同日、当協会の副理事長である株式会社大多摩ハム小林商会の小林和人相談役が多年にわたり食肉・食肉加工業に従事し、関係団体の要職にあって組織の運営と業界の発展に尽力した功績により「黄綬褒章」受章の栄に浴された。

(2) 令和3年5月26日、ハム・ソーセージ会館において第82回定時総会が開催され、理事の菊池英夫氏(ニチロ畜産㈱)の退任に伴う役員の補選が行われた結果、次のとおり理事1名、代表監事1名、監事1名が選出された。

理 事：福島 保訓(㈱桑原ハム 代表取締役社長)

代表監事：金澤 俊司(銀河フーズ㈱ 代表取締役社長)

監 事：石黒 裕之(ニチロ畜産㈱ 代表取締役社長)

(3) 令和4年3月2日、一般財団法人食品産業センター主催の「第43回食品産業優良企業等表彰」の食品産業部門において、農林水産大臣賞が以下の通り授与された。

農林水産大臣賞<農商工連携推進タイプ>

長濱 徳勝(沖縄ハム総合食品㈱ 社長)

農林水産大臣賞<経営革新タイプ>

宮坂 正晴(信州ハム㈱ 社長)

## 3 会員に関する事項(令和4年3月31日現在)

期 別	会 員 数
前期末現在	131名(正会員甲129名、正会員乙0名、特別会員2名)
新加入者	1名(特別会員 1名)
脱退者	4名(正会員甲 4名)
今期末現在	128名(正会員甲125名、正会員乙0名、特別会員3名)

(注1) 正会員甲：食肉加工業を主たる事業として経営するもの

正会員乙：食肉加工業を事業の一部として経営するもの  
特別会員：食肉加工業に関連を有する者で理事会が承認したもの

#### 4 事業の概要

##### (1) 安全性の確保に関する事業

###### ア HACCPシステムに基づく衛生管理講習会の開催

会員に対してHACCPシステムについての理解を深め、かつその推進を図るため、「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)(旧講習会名：総合衛生管理製造過程に係る講習会)」を、基礎的な知識の習得を目的とした基礎編及び実践的なグループ演習を目的とした専攻編と2つの構成に変更し、オンラインで開催した。

講習内容	開催日	受講者数
基礎編	令和3年9月2日(木)、3日(金)	46名
専攻編	令和4年3月3日(木)、4日(金)及び11日(金)	18名

###### イ 食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法(HACCP手法支援法)に係る指定認定機関の業務について

HACCP手法支援法では、食品製造工場がHACCPシステムを導入し、製造過程の管理の高度化を円滑に図る際の施設設備の整備又はHACCPシステム導入に向けた前段階での施設設備の整備を支援する。当協会は同法に基づく食肉製品の指定認定機関としての業務を行っているが、令和3年度は高度化計画の申請はなかった。

###### ウ 会員・組合員に対するHACCPに沿った衛生管理の導入に関する課題調査

食品等事業者のHACCPに沿った衛生管理が制度化され、令和3年6月から完全施行されたことに伴い、会員・組合員がHACCPに沿った衛生管理の導入後の課題について各社の状況を把握するために、日本ハム・ソーセージ工業協同組合(以下「組合」という。)と協力して、アンケート調査を実施した。

###### エ 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連機関が実施する安全性の確保に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

###### オ 食品衛生法の改正等に伴う関連情報の収集及び提供

関係省庁等から情報を収集し、会員、消費者等へ最新情報の提供に努めた。

###### カ 食肉加工品の安全性に関する問合せへの対応

会員、消費者等からの問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

##### (2) 品質・製造技術の向上及び規格・表示に関する事業

###### ア 初級食肉加工技術講習会の開催

食肉及び食肉加工品に対する理解を深めるため、その種類や製造方法、原料肉の

基礎知識、食肉の科学並びに衛生管理等に関し、講義内容を再編し、4日間のオンライン講習として開催した。

開催日	受講者数
令和4年1月14日(金)、21日(金)、28日(金)、2月4日(金)	40名

イ 食肉製品の規格と表示に関する研修会の開催について

ハム・ソーセージ類公正取引協議会（以下「公取協」という。）及び一般社団法人食肉科学技術研究所（以下「食肉科研」という。）と協力し、食品の表示の基本となる食品表示基準に加え、JAS規格、食品衛生法及びハム・ソーセージ類の表示に関する公正競争規約との関連性について、若手を対象とした「食肉製品の規格と表示に関する研修会」を令和3年度は2回実施し、40名が参加した。

ウ 加工食品の原料原産地表示の義務化について

加工食品の原料原産地表示は平成29年9月1日付けで食品表示基準が一部改正され、経過措置期間が満了する令和4年3月末までに全ての加工食品に表示することとなった。当協会は組合と連携して、原料原産地表示の義務化に関する情報収集を行うとともに、会員・組合員における取組状況について調査し、表示方法や留意点等に関し、関係省庁に確認を行い令和3年6月及び12月に会員に情報提供を行った。

エ 食品添加物の不使用表示に関するガイドラインについて

食品添加物の不使用表示に関するガイドライン（以下、「ガイドライン」という。）については、令和3年3月にガイドライン検討会を設置し、全8回検討会が開催された。これを踏まえて、令和4年3月に表示禁止事項（食品表示基準第9条）に該当するおそれが高いと考えられる表示について、食品添加物の不使用表示を10の類型に分け、ガイドラインが取りまとめられ、その概要を会員に周知した。

オ 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、（一財）食品産業センター、（公社）日本食肉協議会、（公社）中央畜産会、（一社）日本農林規格協会を始めとする食品等関連団体が実施する品質や規格・表示に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

カ 品質等管理優良事例の表彰

JAS認証事業者のうち年間を通じて格付業務並びに品質管理が優秀であった上位10工場並びに当該工場の品質管理担当者、格付担当者に対し、表彰状及び記念品を贈呈した。

キ 消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せへの対応

消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(3) 普及啓発に関する事業

消費者への食肉加工品に関する正しい知識の普及啓発を目的として、組合及び公取協の協力を得ながら次の事業を実施した。

ア 小冊子の作成及び配布

見開きA4サイズカラー34ページの小冊子「ペロッと解決！ハムソベ探偵～怪盗団

の挑戦状～」を4万部作成し、国産食肉消費促進イベント等の催事及び会員・組合員を通じて消費者に配布した。

イ 催事への協賛・協力

令和3年10月9日～10日開催までの2日間、川崎市の（一財）日本食肉流通センターにおいて開催予定であった「第39回ちくさんフードフェア2021」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止となった。

食肉加工業界の発展に資するため、令和4年3月8日から11日までの4日間、幕張メッセにおいて開催された「第46回食肉産業展2022」に出展した。

ウ 加工情報誌の発刊等

食肉加工業に関する時事、経営、技術のほか統計資料等に関する情報を編集した「日本食肉加工情報」を毎月1回発行し、会員及び関係官公庁、団体、学校、その他に広く配布した。

(4) 経営の改善等に関する事業

ア ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定の推進と実施協力

令和3年度後期「ハム・ソーセージ・ベーコン製造」技能検定について、組合及び食肉科研と連携して実技試験の実施に協力した。令和4年1月23日に学科試験、2月5日、6日に実技試験が行われた結果、1級22名、2級27名が「ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能士」となった。

イ 環境自主行動計画について

環境自主行動計画について、2030年を目標年度とする「食肉加工業界の環境自主行動計画」に係る令和3年度（令和2年度実績）フォローアップ調査を実施し、その調査結果を令和3年11月4日に農林水産省へ報告した。

ウ 食肉等の輸入動向について

「食肉に関する情報交換会」を3回開催（オンライン：8月24日、3月30日、対面：12月27日）し、原料食肉の需給・価格・輸入動向及び各種経済連携協定に関する情報・意見交換を行った。

(5) 食肉加工業に関連する法令の改正等に伴う情報の収集及び提供

食肉製品に関係する法令（食品表示法、JAS法、食品衛生法、健康増進法及び景品表示法等）の改正等の情報を収集し、必要に応じて会員に関係資料を送付、周知を図った。

(6) 食肉加工関係功労者の表彰について

会員の従業員として永年勤続し、勤務成績等良好で他の範とするに足る優良従業員に対し、組合と合同して、30年以上の勤続者には表彰状及び記念品を、20年以上の勤続者には表彰状をそれぞれ贈呈した。

被表彰者 30年以上勤続者 伊藤ハムデイリー株式会社 小山内 勝美 氏 他全59名  
20年以上勤続者 株式会社カルネス 田口 学 氏 他全28名

(7) その他

ア 令和3年のカレンダー及び食肉加工手帳を作成し会員等にそれぞれ配付した。

イ 会員に対する慶弔について

会員の慶弔に対し、組合と合同して規程に基づき慶弔の意を表した。

慶 弔        5件